

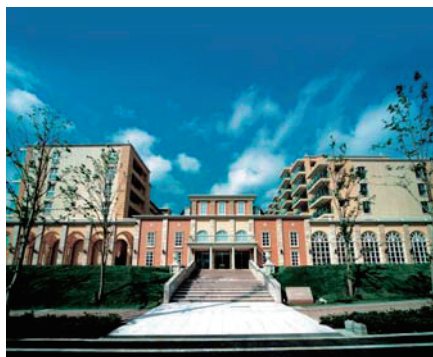
ユーロデザインを採り入れたこだわりのマンション

首都圏を中心にマンションデベロッパーとして設立20周年を迎えた日本綜合地所株式会社。ファミリー向けマンションにユーロデザインを採り入れるなど、独創的な提案をする同社の住宅事業について代表取締役社長の下村俊二氏が語った。

開放的なゆとり空間を実現した オープンエアリビングバルコニー

伝統的な美しいデザインと機能的な居住スタイルが確立されたヨーロッパの街並み。そこには、流行に流されず、普遍的な様式美をまとった建築物を永く使い続けるという住まいへの思いが感じられる。このヨーロッパならではの住環境のテイストを日本の分譲マンションに採り入れたのが、日本綜合地所株式会社だ。

「当社は今年設立20周年を迎えたマンションデベロッパーであり、VERENA（ヴェレーナ）シリーズとしてファミリー向けマンションを分譲しています。私たちのマンション



横浜市都筑区 ヴェレーナ港北ニュータウンの外観

の大きな特徴はユーロデザインの外観と独創的な商品企画です。グループ企業を含め、建築（製造）・販売・管理まで一貫体制で事業を展開しており、ご購入いただいたお客様からのご意見を商品づくりやサービスに活かしています」（下村氏）

デザインだけにとどまることなく、機能面など本質的な部分までもヨーロッパの生活スタイルにならいつつも、独創的な発想で日本の住まいに融合させることで新しい住空間が誕生した。ファミリー層を中心とした住宅に個性を求めるユーザーから高い評価を得ているという。

「従来、マンションのバルコニーは奥行き1.5～2メートルが一般的でした。当社は独創的な商品企画として奥行き約4メートルおよそ10帖の空間となる『オープンエアリビングバルコニー』（実用新案登録）をご提案しています」（下村氏）

その開放的なゆとり空間は、ホームパーティーやさまざまな趣味に活用するなど、あらかじめ用途を想定して購入するユーザーが多いという。首都圏で2万戸を超えるマンシ

ョンを供給してきた同社は、ユーザーからの声を自社の商品に的確にフィードバックし、これまでの実績から得たノウハウを生かす仕組みも構築している。

同社は、今後もユーザー目線にたちながら独創的な価値ある住まいをかたちにしてさまざまな希望に添えていく方針だ。



日本綜合地所株式会社 代表取締役社長
下村 俊二（しもむら・しゅんじ）氏

Company information

日本綜合地所株式会社

- 本社 〒105-0004 東京都港区新橋1-8-3
- 電話 03-6228-5330
- URL <http://www.ns-jisho.co.jp>
- 設立 1993年
- 代表者 代表取締役社長 下村 俊二
- 従業員数 130名（2013年7月31日現在）
- 事業内容 自社分譲マンションの企画・販売、販売受託、不動産用地開発、不動産仲介、ローン事務取扱